

■■お家まで何マイル?■■

『無事に家に着くまでがコミケットです』とは言い古された表現ではあるが、実際問題としてコミケットの会場からの帰宅はよほど近所に住んでいるか、近場に宿泊していない限りはそれなりの一仕事だ。イベントの高揚感に煽られて会場で1日の活動リソースを全て使い尽くしてしまわないように注意し、安全に帰宅して明日に備えてきちんと休息するところまで含めてが、本当の意味でのコミケットの1日の終わりだと認識しよう。

特に夏コミでは、暑いさなかにイベントの非日常的な活動を行うことになるので非常に消耗する。帰宅後も普段以上に意識的に休息や回復に努め、その日の疲れはその日のうちに癒そう。

■ま〜っすぐお家へ帰ろう■

チェックしたサークルも廻り終えた、同人誌やグッズもまあまあ満足いくまで買った、新規開拓もそれなりにできた……、いいコミケットだった! しかしその感想は未だ少し早い。会場から家(宿泊場所)までの道のりを無事踏破してこぞだ。

なんとと言っても、せつかく苦労して手に入れた戦利品の持ち帰りには気を使いたい。戦利品を入れているのが紙袋の場合、その強度は家まで保つだろうか? 提げ紐と袋本体の接合部や、底の部分などから裂けていくことが多いので、帰宅前に一度よくチェックし、怪しいようなら袋を二重にする、より丈夫なバッグに詰め替えるなどの措置を取るべきだろう。また、あまりハデだったり扇情的なグラフィックの袋はできれば会場外での持ち歩きは控えるようにしたい。その意味でも、あらかじめ戦利品の持ち帰り用に大きめで丈夫な(できれば口の閉じられる)布やナイロンなどのバッグを用意しておくとういだろう。

※たとえ複数日参加するとしても、各日ごとにきちんと会場を離れること。コミケットのルールは会場周辺での徹夜行為や、深夜来場を【絶対禁止】と定めている。特に未成年者は参加にあたっては保護者との信頼関係が大切なので、閉会後は速やかにまっすぐ帰宅すること。

真夏だから大丈夫だろうと甘く見て長時間安眠もできない環境下で過ごす、不衛生だけでなく脱水症からの心不全などの生命に関わるリスクがある。絶対にやってはならない。

●撤収作業は甘くない!

サークル参加者にとって出展日最後の難行が撤収作業だ。限られた時間の中で在庫や多くのディスプレイ用品や他の道具類を片付けなくてはならず、時には自分が購入した戦利品で来た時以上の荷物を持ち帰られねばならないこともありうる。

撤収作業に入るタイミングはサークルやジャンルごとに異なるだろうが、もしまだ隣のサークルが頒布している間に撤収を行うのであれば、必ず作業を始める前に一言断わりを入れ、極力邪魔にならないよう細心の注意を払って作業しなければならない(帰宅時にも再度挨拶し、イスは卓上に上げずに隣に使ってもらってもよいだろう)。

そして、撤収作業時に最も注意しなくてはいけないのが、1日の売上の管理だ。盗難事件も発生しているので、荷物を箱詰めしている間などのごく短時間でも目を離さないようにしなくてはならない。そのために、あらかじめ専用の小さなショルダーバッグやウェストポーチなどを用意しておき、多少重くても金銭は常に全て身につけて以降の作業を行うようにしよう。

そして、最後の最後にひかえるのが在庫の搬出作業だ。宅配便で送るなら受付所へ、駐車場を申し込んでいるならサークル駐車場まで在庫を運ばねばならないが、疲れているところで結構な長時間午後のキツイ陽射しの下で過ごさねばならないことも多く、最後の最後に体調を崩してしまうケースも少なくない。油断せずに帽子やタオルなどの陽避けと飲み物は必ず用意して臨もう。

特に今回はサークルの出展場所と駐車場間が非常に遠いので、念のために台車などの運搬手段は用意しておくべきかもしれない。

